# 指定管理者制度導入施設の運営状況(令和6年度)

# 1. 施設名等

		所在地	大分市大津町2丁目1番41号
施設名	大分県身体障害者福祉センター	電話番号	097-558-4849
		ホームへ゜ーシ゛	http://www.sc-oita.net/

# 2. 指定管理者および県の所管部課(窓口)

	名 称	社会福祉法人 大分県社会福祉協議会	
指定管理者	所在地	大分市大津町2丁目1番41号	福祉保健部 障害者社会参加推進室 TEL:097-506-2725
	指定期間	令和3年4月1日~令和8年3月31日	

# 3. 施設の概要

設置年月日	昭和61年4月1日
設置根拠	大分県身体障害者社会参加支援施設の設置及び管理に関する条例
設置目的	身体障がい者の社会参加支援を行い、福祉の増進を図る。
事業内容	①身体障害者に対し、生活相談に応じるとともに、機能回復訓練、スポーツの指導、教養の向上その他身体障がい者の福祉の増進に関する業務 ②施設の建物及び設備等の維持管理及び修繕に関する業務 ③施設の利用の受付及び案内に関する業務 ④施設の利用の許可に関する業務 ⑤その他、知事が特に必要と認める業務
施設内容	1階:体育室、プール(温水)、機能回復訓練室、療育訓練室、卓球室、交流談話室、事務室 2階:視聴覚室、生活訓練室(和室、洋室)、創作作業室、感覚訓練室、調理実習室、娯楽室
	幼児・小学生   1人1回   70円   1人1回   650円   アマチュアスポーツに使用する場合   100円   100円
使用料等	使用用     一般     1人1回     170円 1人1回     使用料 料機能回復室     その他に使用する場合     身体障害者福祉関係団体     1時間 半面     全面     3360円 3360円 360円       料機能回復室     1人1回     340円
	1人11回 3400円
	【       「車球室」         1台1時間   170円   1時間   170円   1時間   13360円   150円
閉館日	月曜日、祝日(土日を除く)、年末年始(12月29日~翌年1月3日)

# 4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
	令和3年度	24,000	16,491	68.7%
障がい者の利用者数[人]	令和4年度	25,500	17,886	70.1%
厚がい 自の利用有数[八]	令和5年度	27,000	19,014	70.4%
	令和6年度	27,000	22,809	84.5%
	令和3年度	4.50	4.50	100.0%
施設利用者満足度[5段階]	令和4年度	4.50	4.68	104.0%
心政が用名 神足及じび関す	令和5年度	4.50	4.77	106.0%
	令和6年度	4.50	4.67	103.8%

# 5. 施設の利用状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和3年度	4,344	3,742	4,348	5,276	4,374	4,454	
	令和4年度	3,784	3,912	4,933	4,927	3,981	4,423	
	令和5年度	4,748	4,644	5,040	5,401	5,468	5,445	
利用者数(人)	令和6年度	4,833	4,899	5,275	5,758	6,096	5,569	
作用有数(人)	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和3年度	5,713	4,503	4,207	3,250	2,705	3,746	50,662
	令和4年度	5,372	4,549	4,039	3,308	3,749	4,686	51,663
	令和5年度	7,143	3,825	3,339	3,233	3,797	4,098	56,181
	令和6年度	7,461	5,067	4,252	4,312	4,145	4,604	62,271

6. 利用者満足	6. 利用者満足度調査等の実施状況						
	実施方法	利用者アンケートについては、体育施室・訓練室使用団体)・個人利用者等を	育施設利用団体(障がいスポーツ団体)・文化施設利用団体(会議 ・等を対象に実施した。				
利用者満足度 調査	度度						
	利用者等から	の主な意見・要望・苦情	左の対応状況				
体育室の照明が暗い			体育室のLED照明の不点灯箇所が半分を超えている。施設管理者である県において、調査・修繕を行う方向で調整を進めている。				
冬季の温水プールが利用しにくい			冬季(11月~3月)は土曜日、日曜日のみを基本としているが、利用者からの要望を踏まえ第2・第4金曜日の午後も利用可能とし、より多くの方に利用していただけるよう対応している。				
プール利用者以外の更衣室利用について			更衣室の施設上の配置の都合により、更衣室はプール利用 専用として運用しており、体育室や卓球室など他施設の利用 には解放していない。部屋のレイアウト見直しなどにより更衣 を確保できるよう検討する。				
駐車場が満車で	で駐車できなし	`	駐車場が施設に比して狭小のため、総合社会福祉会館の他施設で大規模な行事等がある際に、駐車場が満車となり施設利用に支障を来す場合がある。 会館全体で月次の駐車場調整会議を開催し、大規模な行事の際には近隣駐車場を確保するなど、センター利用者の駐車場を確保に努めている。				

#### 7. サービス向上に係る主な取組内容

1 身体障害者福祉センターのホームページを更新し、行事等のお知らせや、センターの大会結果などを分かりやすく情報提供している。施設の利用予約についても、同ホームページから県の予約システムを介して予約できるようになっている。 なっている。 なお、ホームページのアクセス件数は、66,717件で対前年度比+36,862件、+223.5%となった。

#### サービス提 供体制の強 化

- 2 体育施設及び文化施設の利用予約について、県の施設予約システム上で対応できるようになっている。また、予約窓口に設置した大型モニタにより行事や施設利用状況の表示を行うことで、利用者への分かりやすい案内を提供できる体制を確保している。
- 3 センターパンフレットを市町村、特別支援学校、障がい者支援施設、障がいスポーツ団体、障がい関係団体など関係機関やセンター利用登録者など幅広く配布し積極的な広報活動を行った。
- 4 温水プールの更衣室に、緊急用ベルを設置し、利用者の安全確保に取り組んだ。
- 1 障がいのある人もない人も趣味や娯楽等を通じてともに楽しむ空間を提供する「あすびあ倶楽部」(切り絵・折り紙・ 将棋・機織り)を開催し、12回の開催で延べ162名(うち障がい者は96名)が参加した。
- 2 「あすぴあフェスタ2024」を10月27日に開催、延べ2,405人が参加した。

(内容)

- ①糸口太鼓(糸口学園)などのオープニングステージ
- ②ドローンサッカー体験、eスポーツ体験
- ③ふれあいマーケット・キッチンカー
- 4スカットボール・吹き矢体験
- ⑤動物・昆虫展示 など

# イベント等 の充実

- 3 「夢物語作品展」を3か所の商業施設等で開催し、絵画・造形、書道、絵手紙、切り絵・折り紙の作品全64点を展示した。
- 4 障がい者の輝く場や交流の場を創出することを目的に、eスポーツの体験教室や体験型講習会を開催した。
  - (1) ドローンサッカー
  - ①体験教室 8回 延べ77名
  - ②あすびあフェスタ2024 10月27日 48名
  - ③練習会(出張教室含む) 7回 540名
- (2) e スポーツ
- ①教室(障がい者・児その家族対象)

5回 延べ64名

②体験型講習会(障害者支援施設等において 障害福祉サービスに従事する職員等を対象) 2回 27名

### 8. 管理に係る収支の状況

(単位:千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	収入額(A)	56,309	58,038	59,017	63,773
	県からの委託料	54,021	56,081	54,943	62,817
内	利用料金				
訳	事業収入	95	67	229	293
狐	自主事業収入				
	その他(負担金 等)	2,193	1,890	3,845	663
	支出額(B)	56,309	58,038	59,017	63,773
	人件費	30,728	30,349	32,864	32,329
内	維持管理費	17,847	19,951	19,305	22,723
訳	事業費	7,734	7,738	6,848	7,841
兀	自主事業費				
	その他(繰出金)				880
	収支差額(A-B)	0	0	0	0

# 9. 施設使用料等の収入状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和3年度	169	239	228	247	309	218	
	令和4年度	168	170	197	195	196	174	
	令和5年度	155	162	143	172	195	162	
利用料金(千円)	令和6年度	151	157	166	172	194	173	
和州神亚(十二)	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和3年度	184	178	151	200	216	217	2,556
	令和4年度	160	128	144	137	150	165	1,984
	令和5年度	138	115	103	106	154	155	1,760
	令和6年度	172	140	147	121	142	141	1,876

# 10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	社会福祉法人 所長1名、	大分県社会福 副所長2名、主		員(プール監視	見等)4名、事	務員(受付事務	等)1名	
	職員数	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
	報复数 (R6.4.1)	4	0	5	0	0	0	9

11. 適正	な管理運営に係る主な取組内容
職員の資 質・能力の 向上	1 下記の外部研修等を通して職員の資質・能力向上に努めた。 ・社会福祉施設等新任職員研修 2日、1名 ・普通救命講習 2日、2名 ・防災土養成研修 3日、1名 ・パラスポーツ指導者(初級)養成講習会 4日、1名 ・人権研修 2日、9名 ・消防訓練 1日、6名
防災に関する研修・訓練	<ul><li>1 リスクマネジメントの徹底を図るため、「大分県身体障害者福祉センター事故対応マニュアル」に基づく救急訓練を実施し、消防、救急病院等と連携した即応対制の構築に努めている。</li><li>2 自然災害発生時の対応に向けて、総合社会福祉会館全体で、地震と津波を想定した避難訓練を1回実施した。なお、利用者が迅速に避難することができるよう避難誘導マップを館内に掲示している。</li></ul>
安全対策等	<ul> <li>1 プールの安全管理や、施設の日常的な巡回・点検を実施し、事故防止に向けた取組を行っている。また、水泳プー安全管理講習会に毎年職員を派遣し、監視のポイントや水質管理に関する意識向上を図っている。加えて、換気が困難な男女更衣室については、オゾン発生器を設置し、常時、室内の殺菌・脱臭を行うなど安心・安全な空間づくりに努めている。</li> <li>2 夏場の熱中症対策として、センター内の温度や湿度の管理を徹底するとともに、体育室では大型ファン(2台)や気化式大型冷風機(1台)、換気装置を常時稼働させるなど、快適で安全な施設環境づくりに努めている。</li> <li>3 「大分県身体障害者福祉センター事故対応マニュアル」に基づき、事故発生の未然防止、発生時の措置等をセンター内で共有している。</li> <li>4 プール事故の未然防止に備え、7~8月は、監視員を1名増員し常時2名体制としているほか、プールサイド4か所にロープ付浮き輪を設置し、安全対策を強化した。</li> </ul>